

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(Webサイト掲載日: 令和3年5月10日)

開催日及び場所		令和元年12月24日(火) 関東森林管理局 2階小会議室		
委員		橋爪 健 (弁護士) 田島 聡子 (ジャーナリスト)		
審議対象期間		令和元年7月1日 ~ 令和元年9月30日		
審議対象案件		226件	うち、1者応札案件 92件 契約の相手方が公益社団法人等の案件	
抽出案件		5件 (抽出率 2.2%)	うち、1者応札案件 0件 (抽出率 0.0%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件	
抽出案件内訳	工事	一般競争	2件	うち 1者応札 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
	随意契約			
	業務	一般競争	0件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
	その他の随意契約		0件	
	物品・役務等	一般競争	3件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	該当なし	
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし	
随意契約(その他)		該当なし		
(特記事項)				
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等	
	○(A026治山工事)落札率が高くなった原因の分析で諸経費が標準的な積算と異なるとの記載があるが、標準的な積算と異なるとはどのようなことなのか。		○林野庁が発注する治山工事は、一般管理費や現場管理費などの率を公表しているが、今回の入札では入札参加者が公表している率より高く設定し入札額を見積もったものと思われたことから、標準的な積算と異なる表現しているところ。	
	○(B022林道工事)落札率が高くなった原因として、一部の資材単価が高騰したことが原因の一つと考えられると記載されているが、具体的にはどのような資材なのか。		○林道の横断溝の資材単価が一時的に高騰していた状況であった。	
		○(I007物品購入)落札業者は県内の業者だが、入札参加者すべて県内の業者なのか。	○県内の業者以外に四国の業者も入札に参加いただいている。	

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○(I007物品購入)手袋などの物品購入は1年間分を一回で調達するのか。</p> <p>○(N002造林)発注事業等級が低い場合、上位の業者が入札に参加できないことになるが、これは中小企業の受注機会を確保する目的なのか。</p> <p>○(N022造林)地理的な条件などが落札率が高くない原因であるとの記載があるが具体的にはどのようなことなのか。</p> <p>○(P001林道維持修繕)落札率が100%となる事業は多数あるのか。</p>	<p>○手袋などは、年間に調達を予定する数量を想定して単価契約を行っており、必要の都度、設定した単価で調達を行っている。</p> <p>○然り。なお、国有林が発注する造林事業では、林業労働力の確保に関する法律の認定を受けている業者は参加等級のを拡大し設定しており、各等級の業者の入札参加条件を緩和し受注機会の確保に努めているところ。</p> <p>○本事業は標高が高く作業条件が悪い地域での作業であり、労賃などを高めに設定しないと人員の確保ができないなどの要因が考えられる。</p> <p>○発注する事業によって100%若しくは100%に近い数値での落札となることがある。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	令和元年12月24日（火） 関東森林管理局 2階小会議室			
委員	橋爪 健（弁護士） 田島聡子（ジャーナリスト）			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日

	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				